

Catch Up

03

株式会社FLENSが開発・提供するスクール管理システム「School Manager」。「お知らせ配信」、「入退室通知・管理」、「イベント・面談のスケジュール管理」など、塾業務のスリム化を可能にするアプリケーションだ。今回は、この「School Manager」を提供初期から導入している湘南ゼミナール上席執行役員の垣田正明氏に、業務面から保護者・生徒とのコミュニケーションなどに多岐にわたり大きな成果を得ている理由についてお話を聞いた。

塾を知っているFLENSだから あらゆる面で効率化を達成

小中学部は主に神奈川県横浜市を中心に展開し、現在は東京、埼玉、千葉にも拡大し全部で131校舎になります。小中学部は主に地域のトップ校への進学実績を重視した展開をしています。これに加えて、高等部、個別指導、河合塾マナビスなどを合わせて現在湘南ゼミナール全体では254校舎あります。

——湘南ゼミナールと云えばやはりQE授業だと思うのですが、このQE授業についてご教示いただけますか？

——まず、湘南ゼミナールのこれまでの歩みを簡単にご紹介いただければと思います。

垣田 湘南ゼミナールは1976年に創業しました。



湘南ゼミナール 上席執行役員の垣田正明氏

——業務効率化が大幅に図られたわけですね。他にはどんな効率化がもたらされましたか？

事業全体の責任者である私からの直接の指示がありません。今まではメールや電話など様々な経路で指示を出していました。School Managerでデジタル化することで整理され、瞬時にわかるようになりました。現場の人が指示書を探す際にも、今までは、まずメールがどこにあるから探すことになっていたのですが、School Managerに指示書も紐づけられているのですぐに見つけることができます。これは大きな変化だと思いますね。

垣田 それまで、別会社のカードリーダーシステムで出欠管理をしていたのですが、生徒がカードを忘れたときは出席を登録することができなくて、必ず保護者の方からまだ来てないですかって電話がかかってきました。また、カードを通して初めて出席になるので、事前に遅刻なのか欠席なのかわからない状態だったんですね。それが、School Managerには「今日は欠席します」というのを保護者に簡単に送ってもらえる機能があるので、出欠を事前に把握できるようになりました。



タスク管理画面

あと、台風などで休校になるときも、School

ManagerのQEは、Quick Exerciseの略で、一問一答形式を重視しています。最初にテキストを使った授業をすると、どうしても進度の速い生徒と遅い生徒でばらつきが出ます。QE授業は、ある種先生がテキスト代わりになり、1問ずつ発問していくことで、双方のやり取りを増やして、生徒を飽きさせないで集中できる仕組みになっています。その台本としてあるのがQEシートというもので、これを使うことでどの先生でも同じやり取りが可能になり、授業の均一化を図ることも狙っています。

——その中で、湘南ゼミナールはかなり初期からFLENS社のSchool Manager

を導入して、約3年半前からです。FLENS社が保護者とのコミュニケーションアプリを開発するとの企画提案があり、出欠管理のシステムやタスク管理などの具体的な要望を伝えることで導入しやすいサービスになりました。

——現在のSchool Managerの登録状況はどうですか？

垣田 登録率は98%強です。

——高い数字ですね。登録は入塾時にしてもらうのですか？

垣田 受付に来たときにS

chool Managerの導入前はメールアドレスでの登録率が低かったため、未登録者への電話かけが必要でしたし、連絡が間に合わなかった生徒の中には、台風の日に来てしまう羽目になった生徒もいました。今は、School Manager上で一斉に連絡できるので、そういったことがほぼなくなったので、安心安全の部分でも役立っています。

講習や説明会の参加率も上昇

——キャンペーンや講習のお知らせをSchool Manager上

で配信されると思いますが、例えば講習の申し込み率などは変わってきたりしていますか？

垣田 それも変わりましたね。毎年講

School Managerで出欠管理をさせていたで、体験の段階で登録しておいてくださいとお願いしています。保護者同士の紹介などのキャンペーンをやるときも、School Managerを介してギフト券のコードを送ったりしているの、登録した方がいろいろメリットがあるとお伝えしています。

大幅な業務効率化を達成

——School Manager導入時、先生たちから抵抗はなかったですか？

垣田 導入してから1年後にFLENS社と共同でアンケートをとったとき、タスクの整理、軽減に関して、8割以上の先生が満足という結果が出ました。当時から課題にあったのがタスク管理でした。現場への指示は本部からの指示、現場のエリアマネージャーからの指示

「を導入する前は、他社のサービスと比較検討もされたのですか？

垣田 そうですね。いくつか似たようなサービスと比較しながら、自社開発も検討したのですが、やっぱりFLENS社が塾のことをよく知っていたのが一番大きかったですね。

垣田 システム利用料という形でいただいています。FLENS社にお支払する利用料とうまく考えながら値段設定はしています。

——School Manager



タイムラインのイメージ

お問い合わせ先

FLENS 株式会社

Mail info@flens.jp

URL https://flens.jp/schoolmanager/

